

令和6年8月5日

第66回全国公立学校教頭会研究大会  
高知大会参加者 様

第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会  
実行委員長 大坪 顕彦

第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会の開催について（御礼）

拝啓 残暑の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和6年7月31日、8月1日に開催いたしました、第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会兼第42回四国地区公立学校教頭会研究大会兼第50回高知県小中学校教頭会研究大会の開催にあたり、全国から多くの会員の皆様にご参加いただき成功裏に終えることができました。誠にありがとうございました。

今大会も、より多くの会員の方が参加できるようにと、参集型とオンライン型を併せたハイブリッド型で開催しました。おかげさまで、両日とも約3000名（参集約1300名、オンライン約1700名）の皆様にご参加いただくことができました。

振り返れば、大会1日目の安藤桃子氏の記念講演では、「想像と創造～地球のこどもビジョン～」という演題で、映画監督としてのご経験や高知に移住されてから子供たちとの触れ合いを通して地域と繋がり、地域と共に自らの力で未来を切り拓く子どもたちを育成するための学校教育の役割等、魅力ある学校づくりに向けて大いなるご示唆をいただきました。その後のシンポジウムでは、露口健司氏をコーディネーターとして、藤原文雄氏、田村千賀氏、谷智子氏の4名の有識者の方々に、学校の教職員だけでなく、子ども・保護者・地域の皆がウェルビーイングを達成するための組織の在り方、働きがい等についてそれぞれの知見から分かりやすくお話いただき、これからの学校運営について副校長・教頭としての役割を具体的に考えることができました。

また、2日目は、参集とオンライン参加を併せたハイブリッド型で行った10の分科会別協議会で、私たち副校長・教頭の抱える教育的諸課題に対して、全国の会員による実効的かつ具体的な提言をもとに協議を行うことができました。協議にあたっては、それぞれ参集グループ、オンライングループで協議をし、それらの協議内容を全体で共有し、活発で有意義な協議ができたことは、本大会の大きな成果の一つであると感じております。

今後、本大会で得られたことを各地区に、各校に還元していただければ幸いです。

末筆ながら、今後の皆様方の一層のご活躍を心より祈念しております。

敬具